

- 03 ながとのニュース
- 06 **特集** 捕獲鳥獣を地域の資源に
命をいただく
ジビエで活かす
- 12 **特集** みすゞさんを生み育んだ
長門市の市民の心をひとつに
- 14 知っちょこ Pick up !
 - ・税の申告が始まります
 - ・長門税務署の申告には入場整理券が必要です
 - ・令和3年3月1日(月)からNet 119
緊急通報システムの運用を開始
- 18 暮らしの知っちょこ
 - ・長門市議会議員一般選挙立候補予定者説明会
- ・家庭での通信環境の整備を支援します
- ・軽自動車の廃車・変更手続きはお早めに
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用
- ・図書館へ行こう
- ・長門湯本温泉「うたあかり」開催
- ・消費生活Q & A
- 24 2月の予定表
 - ・イベント情報・図書館・休日当番医
 - ・相談・健幸に関する相談・納期限
- 26 知っちょこコラム
- 27 長門の人
- 28 尾崎眞吾のみすゞギャラリー
市民投稿コーナースマイル
食推おすすめ料理

表紙の説明



元気いっぱい！雪合戦！

向陽小学校での雪遊び

1月8日(金)、長門市としては珍しく市内各地で雪が積もり、向陽小学校の子どもたちが降り積もった雪で元気いっぱい雪遊びを行っていました。

子どもたちはなかなか固まらない新雪を一生懸命に固めて雪玉を作り、友だち同士で雪玉を投げ合い、逃げたり追いかけたりと白銀の校庭を駆け回りました。また、雪だるまを作ろうと、せっせと雪を集める子どもたち。できあがった雪だるまをみて達成感で笑顔がこぼれていました。



▲ Instagram



▲ Facebook

\\ SNSで
情報発信中 //

広報広聴係では地域のイベントなどを取材させていただきます。イベントや話題の人などの情報をお寄せください。
(☎: 0837-23-1117)
mail: koho@city.nagato.lg.jp

お詫び

1月号の特集「特別支援教育」において、写真撮影に協力してくれた児童の顔にとじ穴がかかっておりました。また、文章の文字の一部にもとじ穴がかかり、読みにくい部分がありました。

ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

NEWS

01

1/1
(金)



新型コロナウイルス感染症の収束を願う アマビエ凧を新年の空にとばす

妙見山展望公園でアマビエ凧を新年の空に飛ばしました。これは江戸時代から疫病退散の一役を担っている「アマビエ信仰」を形にした凧を飛ばすことで、昨年から拡大している新型コロナウイルス感染症の収束を願って開催されたものです。この日、初日の出で明るくなった空にアマビエ凧が飛ばされ、集まった人達はその光景を撮影したり、凧揚げを体験するなど楽しんでいました。



NEWS

02

1/1
(金)

良い年になりますように 青海島高山で初日の出登山

「初日の出登山」が青海島の高山で行われ、約25人が参加しました。

午前6時30分に青海島オートキャンプ場をスタートすると、満月の月明かりと懐中電灯を頼りに山道を40分かけて山頂を目指しました。この日はあいにくの曇り空で日の出を見ることはできませんでしたが、参加者は雲間から差し込む光を眺めたり、記念撮影をしたりしていました。



1/5
(火)

NEWS

03

季節の新鮮野菜が勢ぞろい 長門地方卸売市場初競り

長門地方卸売市場で、市場関係者ら約30人が出席して今年の初競りが行われました。大根や白菜、カブ、トマト、イチゴなど季節の新鮮な野菜や生花が市場に並び、競り人の威勢のいい掛け声が響く中、買い手が競り落としていました。

また、この日は仙崎地方卸売市場でも鮮魚の初競りが行われました。



NEWS

04

1/10
(日)

やきとり文化を全国発信するスペシャルイベント オンラインやきとり祭り in 長門

新型コロナウイルス感染症の影響で西日本やきとり祭りが中止となる中、やきとり文化の灯を衰退させてはいけないとの思いから、長門のやきとり文化をオンラインでPRするイベントが開催されました。

全国からやきとりファンがインターネットを通じて多数参加し、ゲストトークやはしご酒中継などを企画。同時乾杯企画では、当初の目標の710人を上回る5,266人が参加しました。市内のやきとり店で食レポが行われると、オンラインの参加者から多数のコメントが寄せられていました。西日本やきとり祭り実行委員会の末永実行委員長は「たくさんの人にやきとりを愛してもらい嬉しく思います。これからも長門から世界にやきとり文化を発信していきたいです」と語りました。

1/11
(月)

NEWS

05

制限なくお店に来てもらえる日を願い ながと初夢大抽選会

「ながと初夢大抽選会」のライブ配信が行われ、1,200個の景品の当選者が発表されました。

感染症拡大の影響で飲食業から客足が遠のいている中、お店に足を運んでもらうため、また近いうちに制限なくお店に来てもらえるようにと願いを込めて長門料飲組合が企画したもので、加盟店舗で抽選券を販売。3,932枚の抽選券が購入され、この日、続々と当選者が発表されました。



NEWS

06

1/4
(月)

安全・安心なまちづくりを進める 長門市消防団長辞令交付式

令和2年12月31日で、村部博明長門市消防団長が退任され、1月1日から新たに森孝彰副団長が団長に任命されました。

NEWS

07

12/21
(月)

災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定 災害時の生活環境の保全

有限会社長門環境管理センターおよび有限会社馬場クリーンとの三者で協定を締結。災害時に、し尿などの収集運搬などの実施を要請できます。

シティプロモーションの推進のために 情報発信リーダー養成講座

「情報発信リーダー養成講座」が長門市しごとセンターで始まりました。

市では、地域の魅力を市民一人ひとりが発信し、持続可能な地域づくりを目指すために市民参加によるシティプロモーションを推進しています。この日、フリーカメラマンの瀬戸康代さんの指導のもと、すてきな写真の撮り方講座が開催され、カメラの設定や撮影のコツを学びました。



ひと筆ひと筆、ていねいに 小学校で書初め大会開催

3学期が始まり、市内の小学校で書初め大会が行われました。

浅田小学校では、2日間にわたって実施。講師の長尾一恵さんの指導のもと、学年ごとに書初めにチャレンジしました。

長尾さんは浅田小で11年間、指導されています。一人ずつの名前までお手本が準備されており、子どもたちはお手本を見ながら一筆ずつ丁寧に、そして真剣に取り組んでいました。

毎年恒例行事で豊漁を祈願 大日比地区のどんど焼き

青海島の大日比地区で約200年前から続くとされるどんど焼きが行われました。

この巨大やぐらは、地区住民の手により垂木や孟宗竹などを骨組みに、中に大量のシダの葉を入れ乾燥して制作。高さは、8メートルに達し、末広がりとなるようにとの思いが込められています。今年は新型コロナウイルス感染症防止対策として、大日比地区の住民とその縁故者に限定し、約80人が参加しました。

どんど焼きは、年男・年女により着火されると、瞬間に火は燃え広がり、約10分程度で倒れました。このやぐらには、海側に倒れると豊漁、山側に倒れると豊作の言い伝えがあり、今年は海側に倒れ、豊漁になるとの判断がなされました。

